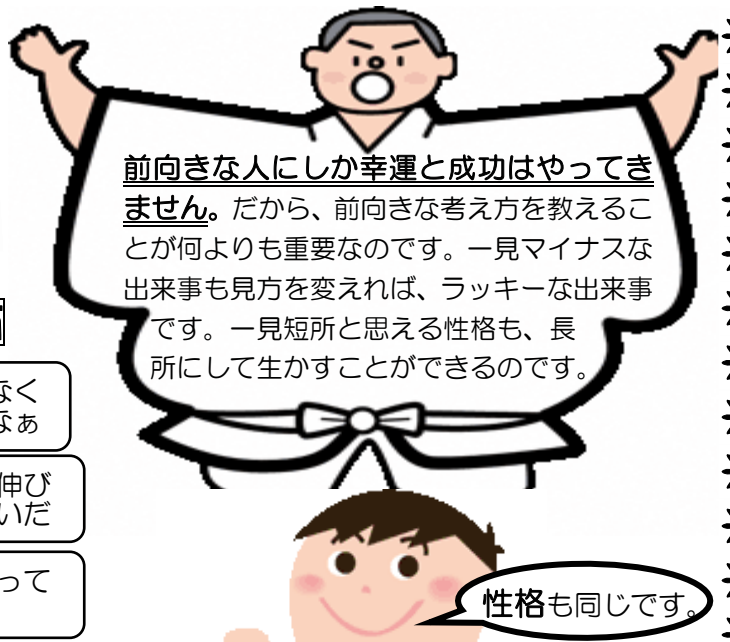
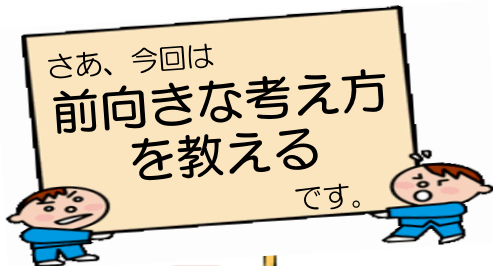


Dr.ひろみの ハッピー子育てひろば



みなさんさん、香川大学医学部の鈴木です。
 コロナ禍で対面交流が難しくなったため、今年の6月からZoomを用いた親の交流会を毎月開催しています。その中で「鬼滅の刃」は残酷みだだから、子どもに見せていいか悩むという話が出ました。私はアニメも漫画も楽しんでいます、感性が大人なので子どもがどう感じるかはよくわかりません。一概に何歳以上はOKとも言えません。感じ方が人それぞれなのは子どもも同じですね。おススメは一緒に観て一緒に楽しみ、残酷なシーンを子どもがどう感じるか話し合ってみることで。何事も大人が勝手に決めず話を聞いてみたらどうかと思いますが、いかがでしょうか？

☆プロフィール☆
 鈴木 裕美 (すずき ひろみ)
 香川大学医学部 小児科専門医



マイナス面

プラス面

Illustration of a person in a blue hooded robe holding a sign. A red arrow points from the 'マイナス面' (Negative side) to the 'プラス面' (Positive side).

- けがをした (Got hurt)
- うまくできない (Can't do it well)
- テストで間違えた (Made a mistake on the test)
- 大げがじゃなくてよかったなあ (It's good that it wasn't a big accident)
- これからだ！伸びしろがいっぱいだ (It's from now on! There's a lot of room for growth)
- 課題が見つかってよかった！ (Found the problem, that's good!)

性格も同じです。(Personality is also the same.)

❖「自称ネガティブ…と思っているあなたへ」
 自分は前向きな考え方を取り入れることが不得意だと思っても、前向きな考え方を理解し、他人に伝えることは可能です。
 ですから、子どもにどんどん前向きな考え方を教えていきましょう。
 そのうち、自分まで前向きになってきます。

ゆっくりで遅い	➡	慎重な子
断れず、優柔不断	➡	人の気持ちを優先する優しい子
きつい	➡	自分の考えをしっかり持っている子
落ち着きがない、多動	➡	好奇心旺盛で活動的な子

「できないことを数えるよりも、できることを数えよう」
 研修医の時、17歳年下の同期と比べて「できない自分」に悩んでいました。その時に学んだのが、「できない自分への向き合い方」です。できないとは言っても、1年前より、半年前より、1か月前よりはできることも、わかることも増えているものです。「そこを見てあげよう、そしてこれからも、できることは増えていくと信じよう」と決めたのです。
 前向きな思考を身につければ、将来困難があっても自分で考え、乗り越え、自分の背中を押しながら生きていくことができます。それがあなたに幸運と成功を運んでくれます。